

頼りにされるのが嬉しい！ この仕事をみつけられた自分は幸せ。

仙台市内の特別養護老人ホームで介護福祉士として働いている笹原日登美さん。きっかけは、中学時代の職場体験で施設のボランティアをしたこと。

「あ、こういう仕事があるんだと思って、大学は福祉系に進みました。学生時代もボランティアで行っていたので、仕事には何の抵抗もなくすんなり入れました」とはいえ重度の障害を持つお年寄りも多い。

仕事が大変では？と質問すると――

「大変と思ったことはありません。自分も楽しんでいるので。入居者の方との会話がいちばん楽しい」。

その笑顔から仕事もみなさんとの生活も、自然体でしているのが伝わってくる。

「ついこの間、お風呂の介助をしていた時に『ヒトミちゃんはいつもすごく丁寧にしてくれるね。安心するよ』と言ってもらえたんです。頼りにされるとすごく嬉しい。はじめはコミュニケーションがうまくいなくて、落ち込むこともありました。でも介護という仕事をイヤだと思ったことは一度もなくて、この仕事をみつけられた自分は幸せだと思っています」。

いつもポジティブで仕事に全力投球な笹原さん。その姿勢が、今日も施設のおじいちゃん、おばあちゃんたちの表情を明るくしている。

profile

名前	笹原日登美 (28)	将来の夢
職種	介護福祉士	今後、もし結婚、出産とかでいったん休んだとしても、また職場に戻りたいです。できればずっと今の仕事を続けて行きたい！
趣味	友人とおしゃべり	



1 さあ体操の時間ですよ

テレビに合わせて体操です。足の不自由な人は、せめて上半身だけでも。笹原さんの笑顔に誘われて、ゆっくりと



2 早春の陽光の中で

入居者には車いすの人も多い。「みんながそれぞれ、その人らしく暮らしているのが見れた時は、嬉しいですな」



3 何気ない会話がすごく楽しい

入居者はここで暮らし生活している。そんなお年寄りたちにとって笹原さんは、まさに本当の孫のような存在だ



4 大切なクスリのチェック

投薬の管理は看護職員の仕事だが、笹原さんが再チェックして万一の間違いを防ぐ。これも大切な仕事のひとつ